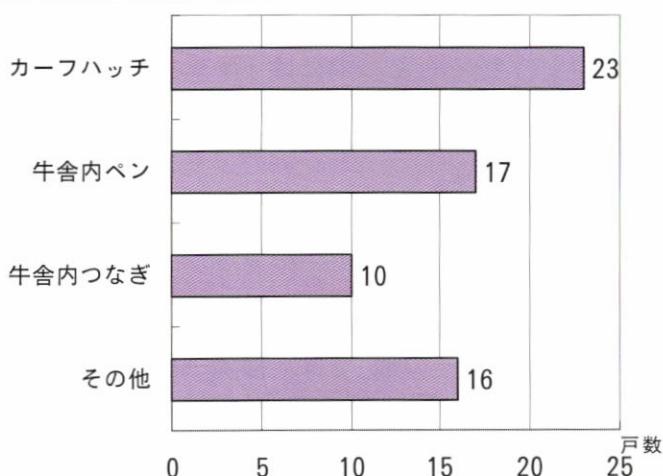


## ほ育施設について



「カーフハッチ」が最も多く使われている施設でした。しかし、全体に大きな数字の差はありませんでした。

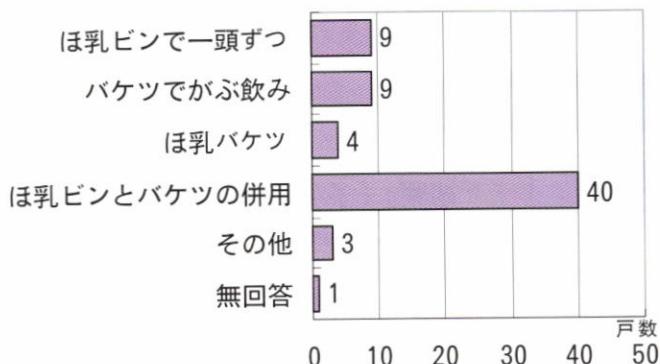
「その他」は「自動ほ乳装置」以外は「カーフハッチ+牛舎内ペン」「カーフハッチ+牛舎内つなぎ」等、複数の施設を使用していました。

牛舎内につないでいる管理も、約1割見られます。搾乳作業や他の作業性を低下させていませんか。カーフハッチを使用する等、ほ育専用施設を検討してみてはどうでしょう。

下にそれぞれの施設に関する意見をまとめてみました。

施設に関する意見	カーフハッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「天候に左右される」(3戸)が目立ちました。</li> <li>「換気が良い」(1戸)との回答がある一方で「換気が悪い」(2戸)という意見もありました。</li> <li>「給餌施設を改善したい」(2戸)</li> </ul>
	牛舎内ペン	「換気が悪い」(4戸)という意見が目立ちました。
	牛舎内つなぎ	目立った意見なし
	その他	複数の施設でほ育しているため、「育成舎がほしい」(2戸)「管理を1ヵ所にしたい」(1戸)といった意見が多くありました。
	全体を通して	全体では「換気」「糞出し」を改善したいとの意見が多くありました。現在の施設で良いと感じている点では「冬、牛にとって暖かい(保温)」「換気が良い」「個体管理ができる」等がどの施設にも共通の意見でした。

## ほ乳方法について



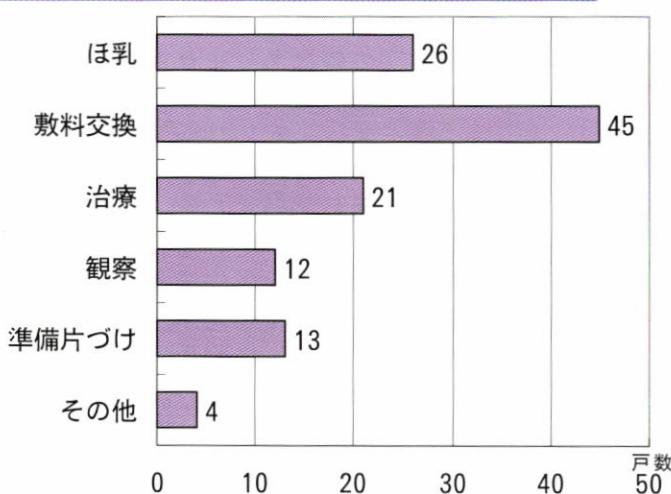
「ほ乳ビンとバケツの併用」が最もポピュラーな形のようです。

「その他」は「自動ほ乳装置」(1戸)や「担当者によって違う」等でした。

ほ乳方法に関する意見の数々を下にまとめてみました。

ほ乳方法に関する意見	ほ乳ビン	「頭数が多いとつらい」「分娩が重なるとやたらと時間がかかる」等、頭数が多い時に大変との意見が他の方法に比べて多くありました。「ほ乳ビンホルダーを使用」という工夫もありました。
	バケツでがぶ飲み	「楽!」(2戸)「省力的」(1戸)と手間がかからないという意見が目立ちました。一方「重い」(2戸)「こぼす」(2戸)「固定したい」(1戸)等、バケツならではの欠点もあるようです。
	ほ乳バケツ	一頭ずつなので時間がかかる(2戸)
	ほ乳ビンとバケツの併用	ほ乳ビンからバケツに移行する時に「タイミングが難しい」「牛の体制が崩れる」等苦労があるようです。

### ほ育で負担になっている作業（複数回答）



最も回答の多かった「敷料交換」は「腰に負担」(28戸)が圧倒的に多い意見でした。中には「腰肩腕足膝精神の全てに負担がかかる」との意見もあり、労働負荷の高い作業であることが伺えます。

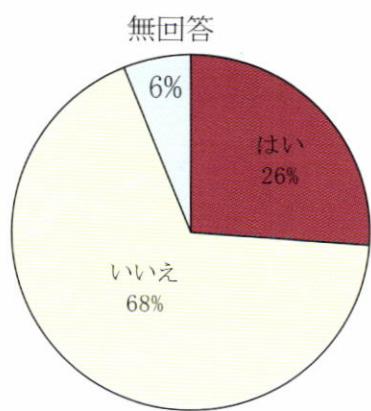
次に多い「ほ乳」もやはり「腰に負担」(21戸)がかかるようです。

「治療」「観察」は「精神的に負担」がかかるとのことでした。

「その他」では「掃除→肩」「寒さ→精神・腕」「場所が遠い→足」等でした。

ほ育作業は体の負担はもとより精神的な負担も多いようです。

### ほ育作業中のケガの経験



全体の26%にあたる17名がケガの経験があると回答しました。

#### 【ケガの原因 BEST 3】

##### 1 手をかじられた 7戸

「飲みの悪い時、口の中に手を入れて切った」(5戸)「かじられて血が！」等、手をかじられるケガが最多でした。

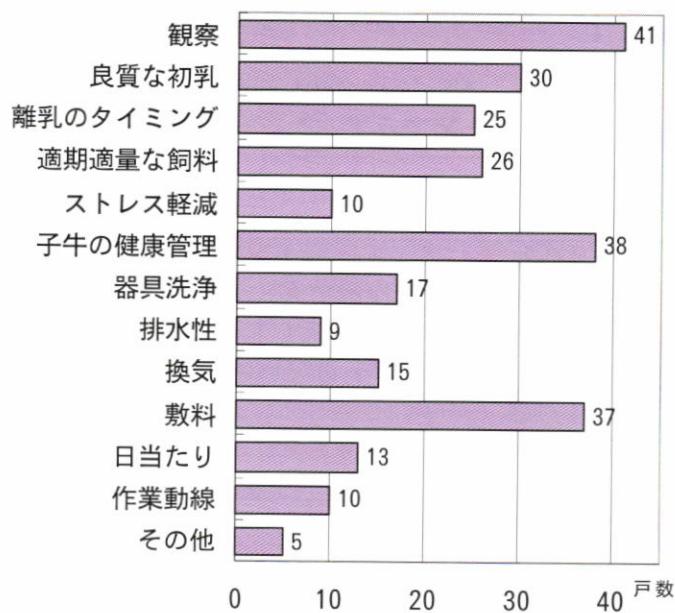
##### 2 蹤られた 4戸

「ほ乳中、隣の牛に蹴られた(つなぎ飼い)」「敷料交換中に…」等

##### 3 バケツが凶器に！ 4戸

「バケツをひっくり返されたり突かれて打撲」「バケツに当たってケガ」(3戸)等、バケツが凶器になるパターンも多いようです。

### ほ育作業において特に注意を払っている事（複数回答）



「観察」「子牛の健康管理」「敷料」の順で多く回答がありました。「子牛の病気が特に気になる」という意見の通り、子牛の健康管理の徹底のため、観察や敷料交換に注意を払っているという状況なのでしょう。

その他では「私の愛情いっぱい」という意見があり、この気持ちが良い後継牛づくりにつながる大切な気配りなのかもしれません。

一方で「全てに注意を払うようにしているが払いきれない」との意見があり、これが大半のは育担当者の本音なのでしょう。